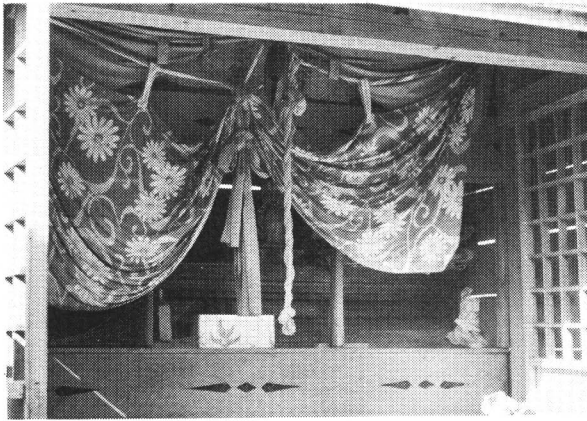


片草の乳代観音と子育て地蔵

片草の百庚申の傍らに在るま新しい御堂、それが



観音と地蔵を祀る堂内

「乳代観音と子育て地蔵」が安置されている御堂です。

両像とも木造彩色で約四〇センチの大きさです。

観音像は、頭部及び手の一部が損失しています。

古くより「片草観世音」別名「乳代ちちしろ観世音」と呼ば

れ、乳房の病気や、乳の出の少ない婦人が竹筒に甘

酒を入れて供え、祈願すると御利益があるとされ、

祈願者も多かったところです。

小手郷三十三観世音の札所で、ご詠歌は

片草や、朝日かがやく観世音

乳ぶさのねがい、あらたなるらん

地蔵尊は延命地蔵ですが、「子育て地蔵」といわれ、
子どもの諸病に利益ありといわれてきました。

この御堂は、文政十二年八月十七日創建の記録が
残っていて、発起人は片草の善八、世話人は平左衛
門外八名であることがわかっています。以前は旧県
道近くにありましたが、道の拡幅などで倒壊の恐れ
がでたため現在地に造営されました。